

特集

島根県立図書館 建築50周年 記念事業

…………… 2

あなたのまちの図書館めぐり

出雲市立出雲中央図書館 …………… 6

邑南町立図書館 …………… 7

建築50周年記念事業の概要 …… 8



との縁結び

島根県立図書館報

<http://www.library.pref.shimane.lg.jp>

図書館だより

2019

第210号

2019年3月29日発行



昭和43年竣工当時 (館内某所です。答えは裏表紙に)

島根県立図書館イメージキャラクター
ぶっくまんとしおりちゃん

島根県立図書館は、昭和43年の建築から 今回は、多くの方に参加いただきました各

月替わりで50年を振り返る

7月～10月にかけて、1階特別研修室にて「建築50周年回顧展」を行いました。この50年を振り返り、毎月テーマを変えて、島根県立図書館の活動やサービス、資料を紹介しました。

7月のテーマは古文書の保存・整理を含めた郷土資料とレファレンス・サービス(調べものの相談)について、8月は「こども室50年のあゆみ」と題して子ども室の行事や子どもの本に関するものを、9月は島根県立図書館の読書普及・市町村支援の歴史、10月は50年前のベストセラー本や文学賞受賞作を当時のニュースと共に、紹介・展示をしました。

8月の展示「こども室50年のあゆみ」では、当館が作成している「おすすめしたいこどものほん」や「しまね子育て絵本」等の推薦リストの変遷がわかる資料を紹介し、リストに掲載されている絵本を並べて手にとって見られるようにしました。書庫にある雑誌や豆本、紙芝居や布絵本など、普段なかなか目にすることのない書庫の資料は、みなさんの興味をひいたようです。また、当館で以前作成・上演していた人形劇の道具を、舞台を仕立てて展示しました。舞台裏も見られるようにしたところ、子どもたちが楽しそうにのぞき込んでいる姿を見ることができました。



50周年を迎えました。 種記念事業の様子についてご紹介します。

いつもと一味違う文化講座

図書館では、定例文化講座を開催していますが、建築50年を記念し、より多くの方に講座を楽しんでいただく機会として、拡大版を実施しました。

特に、9月29日(土)の川島芙美子氏(山陰万葉を歩く会会長)による、「万葉集を読む～人麻呂様に書を捧げた天皇と人麻呂信仰～」は、初めて県西部で実施する文化講座として、益田市立図書館で開催しました。約40人の参加者は熱心に学んでいました。

柿本人麻呂は万葉集の代表的な歌人の一人で、歌聖と称されています。益田市にある高津柿本神社は、全国に存在する柿本神社の本社とされ、天皇や親王、公卿が詠んだ和歌などが収められています。今回は益田市ゆかりの柿本人麻呂をテーマに、石見相聞歌(そうもんか。恋の歌)の魅力や人麻呂の神格化について、柿本神社の宝物殿に収蔵されている和歌の写真のスライドを交えながら紹介されました。



県立図書館のひみつに迫る

7月22日(日)に「建物見学&バックヤードツアー」を開催しました。

午後1時30分から約1時間、島根県職員で島根県建築士会会員の山本大輔氏による「松江城山のモダニズム建築」と題した講演の後、県立図書館職員も加わって、1階ロビーや建物外部の見どころの解説と地下書庫などのバックヤードを見学していただきました。

当日は35℃を越す猛暑日となり、参加された16名の方は汗を拭きながらの見学となりました。

また、この様子はケーブルテレビや新聞でも取り上げられました。



子どもも大人もわくわく!

こどものつどい特別版として、8月7日(火)に「科学であそぼう!図書館わくわく実験室~TOY POP科学イベント」を行いました。米子市から「百エデュケーション」の今出和史氏を講師に迎え、風船やスライムを使った科学実験を披露していただきました。また、会場にはイベント内容に関する本や夏休みの宿題の参考になる科学実験の本を取り揃えて展示しました。

当日は100人ちかい来場者があり、風船で音を鳴らしたり、砂鉄入りのスライムが動く様子を間近で見たり、大人も子どもも、次に何が起こるのかドキドキわくわくしながら、さまざまな現象を楽しみました。最後にスライム作りがあり、材料がだんだん固まってスライムができあがるまで、多くの歓声があがっていました。



夜の図書館でドキドキ怪談

9月8日(土)図書館閉館後の午後7時から、夜間の怪談朗読会「松江の現代の怪談」を行いました。講師には、怪異蒐集家で作家の木原浩勝氏を招き、著作『九十九怪談』から「勇気」「松江の布団」など、本には書かれていない情報を付け加えながら怪談を語っていただきました。ひっそりと静まり返った夜の図書館で、照明は講師を照らすライト1つのみ。話を聞きながらどことなく暗闇を見つめる参加者たちは、何かを感じ取っていたのでしょうか……。

昼の図書館とは異なった雰囲気の中、小学生から大人までジッと耳を傾けていました。



県立図書館の50年を語る

10月14日(日)にくにびきメッセにおいて、島根県立大学短期大学部名誉教授の藤岡大拙氏による建築50周年記念講演会「島根県立図書館と私」を開催しました。

藤岡氏は、昭和47年4月から昭和60年3月までの13年間、県立図書館に勤務されていました。また、図書館職員となる前に自身で開講し、今も講師をされている「古文書を読む会」も50年を迎えます。

講演では、高校の教師から図書館職員に転身された経緯や、県外出張の際に島根県立図書館の先進的なデザインを誇らしく思われたこと、新館地下書庫建築の際の「お祓い」の話など、改めて50年の歴史を感じることができました。

職員も聞いたことのない興味深い話が盛りだくさんで、78名の参加者のにこやかな表情がとても印象的でした。



記念グッズ作りました!

建築50周年事業を実施するにあたり、記念グッズを作って、各種イベントの際に参加者の皆さんに配りました。

グッズは、県立図書館のイメージキャラクター「ぶつくまんとしおりちゃん」をあしらった、クリアファイル、4枚つづりのしおり、マスキングテープの3種類です。皆さんには「かわいい!」と好評でした。



記念グッズプレゼント

下のクイズに正解した方に、記念グッズ3点セットを、抽選で10名様に差し上げます。

《クイズ》

現在の島根県立図書館は、昭和何年にできたでしょう?



《応募方法》はがきに、クイズの答え、お名前、郵便番号、ご住所を明記のうえ、下記までお送りください。

〒690-0873 松江市内中原町52番地

島根県立図書館「図書館だより」プレゼント係

《応募締切》2019年4月30日(火)当日消印有効

《当選発表》当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

《その他》お預かりした個人情報はプレゼントの発送にのみ利用します。

あなたのまちの図書館めぐり

島根県立図書館の職員は、県内市町村の図書館などを各館年2～3回訪問して、スタッフの方に直接お会いして情報交換を行っています。その地域の特徴や暮らす人々を知り、島根県の図書館全体が活性化するよう、ネットワークづくりに努めています。

出雲市立出雲中央図書館 「心安らぐ庭園の眺めと共に読書を」



昭和59年11月、現在の場所に新図書館として開館し、今年で35周年を迎える出雲市立出雲中央図書館。国道184号線沿いに建ち、周囲には商工会議所や出雲合同庁舎があります。

年間50万冊もの個人貸出をしており、県内図書館でトップクラスの貸出冊数を誇っています。建物は地上3階建てで、1階は利用者が本を自由に選ぶ開架コーナー、2階・3階には多目的室や閉架書庫などがあり、約25万冊の蔵書があります。本だけでなく、新聞・雑誌などの資料も数多く所蔵しています。本格的な広い日本庭園に向かって読書席があり、読書に疲れた眼を癒やしてくれます。

館内を歩いていると、医学書の書棚が並ぶ横に、医療健康情報コーナーを見つけました。今年度にした新しい試みだそうです。病院に行きづらい人も情報を得られるよう、がん関連のパンフレットや出雲市による検診のお知らせを置いています。コーナーを始めたことがきっかけで出雲市内のがん相談支援センターと繋がりができ、図書館で医療健康講座を開催するに至ったと教えてもらいました。講座では講演や相談支援センターの紹介の他、司書による図書館の活用法や医療資料の展示を行い、参加者からは図書館とのコラボが新鮮だったとの声が寄せ



られたそうです。

また、出雲教育事務所管内に設置が義務付けられている教科書センターが開設され、カウンター近くの書棚に小・中・高等学校や特別支援学校で使用している教科書が置かれていました。これらは自由に借りることができ^{※1}、教員だけではなく関心を持つ一般の方も利用しています。

子ども向けのイベントで人気なのが、「国際交流員による英語のおはなし会」^{※2}です。お母さん同士の口コミで広がっていき、昨年度は参加者が計200人以上になりました。小学校で英語教育が始まったこともあってか、毎回賑やかな会になるそうです。中央館が所蔵する洋書の大型絵



医療健康情報コーナー

本や紙芝居を使用し、幼児から小学低学年が楽しめる読み聞かせや単語を使ったゲームなどをしています。

子どもから高齢者まで幅広い利用者が、気軽に立ち寄って、必要な情報をいつでも手にすることができる図書館でありたいと職員の方がおっしゃっていました。その思いが、県内トップクラスの利用数を支えているのだと取材をして感じました。

※1 毎年6月中旬から7月下旬は教科書展示会のため閲覧のみ

※2 対象は幼児から小学低学年
定員25人、事前申込制で毎月実施

【出雲市立出雲中央図書館】

開館時間：10時～19時

休館日：毎週木曜日、年末年始、館内整理日
貸出冊数：出雲市内全館で、本・雑誌・AV資料
合わせて20点（うち、AV資料は5点まで）

邑南町立図書館 「自然豊かな町の木造の図書館」



島根県の中央部に位置する邑南町は、平成16年に瑞穂町、石見町、羽須美村の三つの町村が合併して誕生した自然豊かな町です。町内には本館と石見分館、羽須美分館という三つの図書館がありますが、今回は、かつての瑞穂町立図書館を前身とする、邑南町立図書館本館を紹介します。

図書館の入り口には、二宮金次郎像が立ち、薪を背負って読書をしながら、利用者を出迎えてくれます。子どもたちにとってはなかなか珍しい存在らしく、この像をきっかけにして二宮金次郎の伝記を借りていく子どもいるのだそうです。

図書館の中に入ると、壁や床、書架など様々なものが木で作られていて、暖かみのあるデザインが利用者をほっとさせてくれます。中でも自慢なのが、図書館の屋根を支える柱。この柱は、邑南町産の木をそのまま使用した、特別製の逸品だそうです。

また、館内には考古学者で広島大学名誉教授の河瀬正利氏から寄贈を受けた資料「河瀬文庫」が収蔵されています。全国の考古学や地誌の関係資料で構成された「河瀬文庫」は、多くの町民に親しまれているだけでなく、島根県内外の多数の図書館からも貸出依頼があるそうです。

邑南町立図書館では、定期的に様々なイベントを開催していますが、中でも毎年11月に開催している「ぬいぐるみのお泊まり会」は人気を博しています。ぬいぐるみのお泊まり会とは、こどもたちがお気に入りのぬいぐるみを、図書館に一晚預けるというイベント。翌日に、ぬいぐるみたちが図書館の中でどのように過ごしていたか、図書館職員から写真を渡され、教えてもらいます。

小さな子どもたちにとって、いつも一緒にいるぬいぐるみと離ればなれになって一夜を過ごすことは、ちょっとした試練です。毎年、こどもたちとぬいぐるみによる様々なドラマが繰り広げられます。今年も、多くのこどもたちがお気に入りのぬいぐるみを図書館に預けました。ぬいぐるみが自分と別れて眠るのが寂しいだろうと思った、ある子どもは、頑張ってお泊まり会に参加したぬいぐるみを褒めてあげようと、お手製の金メダルを用意してぬいぐるみを出迎えてあげたそうです。

職員の品川さんに、邑南町立図書館の特徴を伺ったところ、「邑南町立図書館は、職員と利用者みなさん、ボランティアの方々の仲が良く、明るくて和やかな雰囲気の図書館です。多くの人々に協力していただきながら、図書館を運営しています」とおっしゃっていました。



【邑南町立図書館】

開館時間：9時30分～17時30分

休館日：月曜日・祝日・特別整理期間・年末年始

貸出冊数：図書5冊まで、雑誌3冊まで

建築50周年記念事業の概要

【講演会等】

開催月	事業名	参加人数
7月22日	建築50周年建物見学&バックヤードツアー	16人
8月7日	こどものつどい特別版「科学であそぼう!図書館わくわく実験室」	97人
9月8日	夜間の怪談朗読会「松江の現代の怪談」	67人
10月14日	建築50周年記念講演会	78人

【リレー文化講座】

開催月	講座名	参加人数
7月15日	しまね文学散歩「習作時代の原石鼎～新聞の調査でわかったこと」	26人
8月3日	古文書を読む会基礎講座「松平不昧とその後継者桑原羊次郎」	60人
9月29日	万葉集を読む(益田市開催)「～人麻呂様に書を捧げた天皇と人麻呂信仰～」	39人

読書を助けてくれる便利なグッズのご紹介

障がいや高齢によって視力が弱くなった方も、読書を楽しめるように助けてくれる便利なグッズを紹介します。

拡大読書機



文字や図の拡大をしたり、色を反転させたりして、図面に映して読むことができます。2階中央カウンター前に置いてあるので、自由にご利用下さい。

リーディングルーペ



読んでいる列の文字に色を付け、拡大してくれます。2階中央カウンター、子ども室カウンターに置いてあります。

リーディングトラッカー



読みたい行に集中して読めるように、両隣の行の文字を隠して読み進める読書補助具です。読んでいる前後の行を隠してくれるので、行を迷うことがありません。各カウンターに置いてあるので、館内にてお使い下さい。

表紙の答え



表紙の写真は、現在の2階新聞・雑誌コーナーを東から撮影しています。当時は中央カウンターが置かれていました。

I N F O R M A T I O N

島根県立図書館 利用案内

- 開館時間／火～金 9時～19時(3月～10月)
9時～18時(11月～2月)
土・日・祝日 9時～17時(通年)
 - 休館日／毎週月曜日(休日の時は開館)
第1木曜日、年末年始、特別整理休館
- ※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

〒690-0873 島根県松江市内中原町52
TEL. 0852-22-5733(図書) / 5725(事務)
FAX. 0852-22-5728
ホームページ <http://www.library.pref.shimane.lg.jp/>

人と人の縁結び 図書館だより は、

本を読む楽しみを味わえるビジュアル情報誌です。
しまねの、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。
皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報
図書館だより 第210号
2019年3月29日発行
編集・発行／島根県立図書館



島根県立図書館イメージキャラクター
ぶっくまくとしおりちゃん